

・事業第二部 TEL 03-3552-5035 FAX 03-3553-6580

ホームページアドレス <http://www.kaijipr.or.jp/> E-mail [jo-ho@kaijipr.or.jp](mailto:jo-ho@kaijipr.or.jp)

このFAX短信は、海運、造船、港湾、港運など海事関係団体が最近発行した機関誌や海事関係資料の主な項目、海事団体のイベント情報などをご紹介します。

## 海のイベント情報等

### ・『海事交通研究』（年報）2012年第61集掲載論文募集のご案内

主催：財団法人 山縣記念財団

(財)山縣記念財団は、学術研究誌『海事交通研究』（年報）を1965年11月に創刊し、海運とその周辺分野に関する最新の研究成果を発表しています。

2012年11月発行予定の2012年第61集につきましても、以下の要領にて、掲載論文の募集を致しますので、奮ってご応募下さいますようお願い申し上げます。

**【募集対象分野】**：海運、物流、港湾、海上保険及びその周辺分野をテーマとする論文

**【応募原稿】**：未発表のもので、原則日本語とするが、相談に応じます。共著も可。

**【原稿執筆要領】**：A4版縦置き・横書き（40字×40行）で10枚を限度とします。（目次・図表・注等を含みます。なお、注の部分は、注番号の他は1行当たり44字で行間は本文と同じ。）

**【原稿提出方法】**：メールに原稿を添付して送信するか、フロッピーディスクを送付。

**【応募・審査手順】**：

- (1) 論文執筆申請者は「年報掲載論文執筆申請書」（以下「申請書」という）を2012年3月30日（金）（当日の消印有効）までに、メール・郵便又はFAXにより、財団宛（後記）お送り下さい。尚、申請書のワード・データが必要な方は財団宛ご連絡下さい。
- (2) 財団の「年報掲載作品編集委員会」（以下「編集委員会」という）が提出された申請書を審査し、年報掲載論文の執筆を依頼するかどうかを4月末までに連絡します。
- (3) 論文提出期限は2012年8月31日（金）とします。
- (4) 提出論文の年報への掲載については、編集委員会の審議を経て最終決定します。

**【原稿料】**：年報に掲載された論文については、財団所定の料率にて原稿料が支払われます。

**【問合せ・年報掲載論文執筆申請書／論文の提出先】**：財団法人 山縣記念財団

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-1-9 京橋北見ビル西館 5F

TEL：03-3552-6310, FAX：03-3552-6311 E-mail：[zaidan@yamagata.email.ne.jp](mailto:zaidan@yamagata.email.ne.jp)

※募集要領の詳細・申請書フォーム

(財)山縣記念財団ホームページ <http://www.ymf.or.jp/>

<p>「国土交通」No. 113 〈特集〉海を守り、災害から人々を救う</p> <p>国土交通省大臣官房 03-5253-8111</p>	<p>「船と海のサイエンス」冬号 世界と戦って勝てる特許権の構築へ</p> <p>海上技術安全研究所 0422-41-3005</p>
<p>「OCEAN GATE」Vol. 20 海を学び、海で学び、そして海に学ぶ。 宮崎県立宮崎海洋高等学校</p> <p>全日本海員組合 03-5410-8311</p>	<p>「船員ほけん」Vol. 661 大海原が君たちの活躍の場になる！ 国立館山海上技術学校を訪ねて</p> <p>船員保険会 03-3407-6064</p>
<p>「港湾」2月号 〈特集〉港湾における保安対策</p> <p>日本港湾協会 03-5549-9575</p>	<p>「うなばら」2月号 世界のビジネスパートナーと机を並べてこそ見える日本と商船三井と自分自身</p> <p>商船三井 03-3587-7665</p>

日本海事広報協会の  
旬刊紙「海上の友」

2月21日号の主な記事

- ◆第11回海事立国フォーラム（日本海事センター） 海運不況は今が正念場！
- ◆第4回B&G全国サミットを開催（B&G財団） ネットワーク生かして復興へ

◆日・印の連携を強化 ソマリア海賊対策（海上保安庁）

◆海賊 日本関係船で被害を受けたのは11隻！（国交省） 東南アジアで9件 他

「海上の友」購読料  
年間10,323円  
1ヶ月860円（税・送料込）

日本海事広報協会の  
隔月刊誌「LA MER」

3月／4月号の主な記事

- ◆〈特集〉東北旅客船の奮闘
  - ・宮古「みやこ浄土ヶ浜遊覧船」戻った船の姿に再開を決意／・気仙沼「大島汽船」元気な大島を見に来てください／・松島「松島島巡り観光船」救われた命かけ復興を宣言／・塩釜「丸文松島汽船」船で200人に炊き出しを敢行
- ◆勝浦沖に沈む「黒船ハーマン号」を世に出す
- ◆今年日本に寄港する主な外国客船
- ◆〈新連載〉夜明けの海鳴り～北の幕末維新事件帖～① 合田一道

◆連載

- ・小説「レインボウ・オブ・オーシャン」 祖父江一郎
- ・素晴らしきかな海女 石原義剛
- ・「海の不思議」を追って 土井全二郎
- ・海族の系譜 山田吉彦
- ・越中島黒川研究室 黒川久幸
- ・わが国海運の戦後60年の歩み 山岸寛
- ・名船発掘「若狭丸」「ニューアムステルダム」 他

「LA MER」 定価700円（税込）  
・ご購入申込は、全国有名書店  
又は弊協会まで。  
・定期購読も承ります。